



# 三城ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和8年1月23日  
大村市立三城小学校  
発行 石司 貴弘

## 人は 人を浴びて 人となる

人は、長い人生を他者とかかわりながら生きていきます。生まれてから家庭で育ち、幼児教育施設へ、さらに学校と子供が過ごす「社会」は少しずつ大きくなり、かかわりも多様になってきます。

上の言葉は、「人とふれあい、様々な経験を重ねることで、よりよい生き方を身に付ける」という意味です。



さて、学校では毎日実にいろいろなドラマが起こります。

- ☆みんなで喜び合う うれしいこと・楽しいこと
- ☆涙を流すほど悔しいこと・悲しいこと
- ☆自分の思い通りにならず、イライラすること
- ☆人と意見が合わずけんかになること



子供にとって、「うれしい」「楽しい」ことばかりではありません。もしかしたら、思い通りにならないことの方が多いかも知れません。しかし、そこにこそ「生き方を学ぶチャンス」があります。

## 学校で起こる 学びのチャンス!

### 自分の役割を知る

面倒くさいなあ、きついなあ……。したくなくても、取り組むことによって、みんなが快適に(幸せに)過ごせます。「自分の行いが社会の役に立つ」ということを経験的に実感していきます。



### 友達と意見がちがっても、折り合いをつける

「好きな遊びができない」「友達と物の取り合いになる」など、思い通りにならないことがあります。

話し合ったり、互いにかまさんしあったりして、折り合いを付けていきます。



今回は、事例を2つだけ紹介しましたが、他にもたくさんの学ぶ機会があります。

子供たちは、長い人生を生き抜く力のもとになる **学力・豊かな心・たくましい心と体** を獲得するために学校に通ってきているのです。それらは、周りの人と適切に係ることでより確かに身に付けられるのです。

学校では、一見子供たち同士のトラブルとも思える事案であっても、貴重な学びのチャンスととらえています。意見が合わず、けんかになってしまうような場面であっても、「自分の意見・考えを表現させる」「互いの立場を理解するよう促す」など、できるだけ子供の力で解決の方向に向かわせます。

ご家庭でも、人とのよりよいかかわり方、相手を傷つけない思いの伝え方などのお手本を見せていただければ幸いです。



## 子供たちの学びの型(例)

**問題をとらえる**  
(やってみたい・おもしろそう)



**考える・調べる**  
(自力・図書・PCを使って)

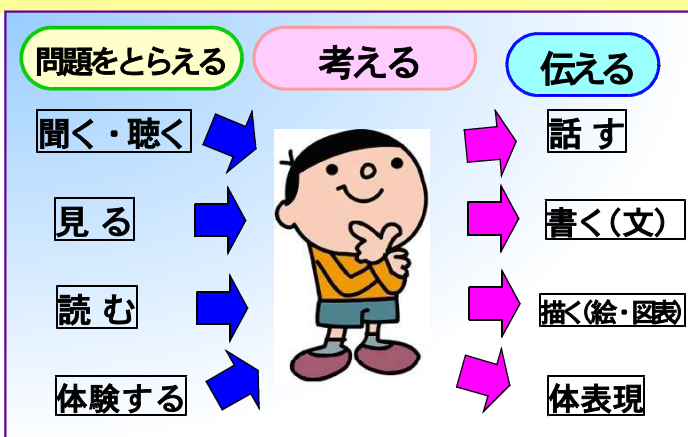


**伝える**  
(いろいろな表現で)

ある保護者様から相談をいただきました。

先日、学校だよりで「家庭学習の大切さ」について知らせていただきました。あらためて、少しずつでも家で続けさせたいと思っています。ところで、先生方は授業をするときにどのようなことを考えておられるのですか？

興味を持っていただいたことに感謝です。ちょっと固い内容になるかもしれませんが、一例を紹介いたします。



### 問題をとらえる

- ① 子供たちは、教師が提示する情報をインプットします
- ・話を聞く
  - ・〇〇を見る
  - ・〇〇を読む

何をどう学ぶのか  
見通し(めあて)をもつ

☆学びの過程ではここがポイントです。

「おもしろそう！」  
「やってみたい！」

と思わせなければ、その後は「やらされる」だけで、子供にとって苦痛な時間になります。

### 考える・調べる

- ② めあてをもった子供は、解決を目指して取り組みます
- ・一人で考える
  - ・資料をもとに調べる
  - ・友達と相談する

○わかったぞ！  
△う～ん、むずかしい  
△わからん、いやだ

☆子供が「考える・解決する」ことができる場をつくります。

- ・時間の確保
- ・ヒントの提示
- ・個別の励まし

**親や教師の声掛けがとても大切です。**

### 伝える

- ③ わかったこと、できたこと、学んだ感想などをまとめて人に伝えます
- ・文章にする(書く)
  - ・絵にする(描く)
  - ・言葉にする(話す)
  - ・身振り

「私は～だと思います。」  
「〇〇さんの話から、～なことがわかりました。」  
「次は～したいです。」

子供はいろいろな方法で自分の思いを表現します。ここで大切なことは、ほめることです。自信をもたせて、次への意欲をもたせます。

授業づくりをするうえで教師が心がけていることは、できる限り「押し付けにならないようにする」ことです。もちろん、教えるべき時や内容によっては、定着のため繰り返しの練習を課す場合もあります。

子供が意欲をもって取り組み、「わかった」「できるようになった」という達成感をもって学習を終えられるようにしています。

そのために大切なことは、子供の学びの様子をしっかりと見つめて、よいところ、努力していることをたくさん「ほめる」ことだと考えます。

ほめられた子供は、自信をもってさらに次の学習への意欲を膨らませます。周りの子供は、ほめられた子供をモデルに、自分の学びに取り入れます。

学校と家庭で子供たちの学びのよいところをたくさん見つけて、ほめて伸ばしていきたいと思えます。ご協力をよろしくお願いいたします。

